

飼っている人も

飼っていない人も

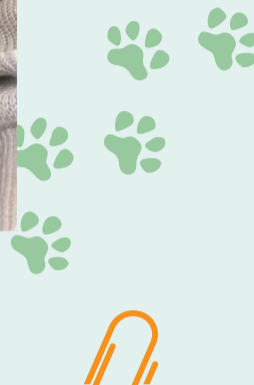
# ペットの防災を一緒に考えてみてください！

平成23年3月11日「東日本大震災」では、多くの人々が被災し、避難生活を余儀なくされました。自宅に取り残されたり、飼い主とはぐれ、放浪したりするペットが多数発生しました。そのため、平成25年、環境省は自治体の動物救護体制の参考となるように、「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」を策定しました。災害時、飼い主がペットと一緒に避難所へ移動する「ペット同行避難」が広く言われています。

狛江市は **指定避難所にペットの飼育専用スペース（注）**を設けています。避難したペットは、人の生活スペースとは分かれて、ケージ内で過ごします。また、ペットの食事・排泄などの世話は飼い主が実施します。

ペットを飼育している方は、日頃から自身の備えに加えて、ペットの防災も考えて用意をしておくことがとても大切です。

**（注）狛江第三小学校避難所は、水害時にはペットの受入れスペースがありません。ご注意ください。**



## ペットのための防災用品は準備できていますか？



### ペットの防災用品の例

- キャリーバッグ、ケージ  
(避難所ではこの中で過ごします)
- フードと水（5～7日分）、食器
- トイレ用品  
(トイレシート、猫砂、新聞紙、ゴミ袋など)
- 健康の記録（手帳）  
(ワクチンの接種証明書や写真など)
- 首輪（迷子札をつける）、リード（伸びないもの）
- おやつ
- 常備薬、療法食
- タオル、ブランケット
- おもちゃ
- ガムテープ（ケージの補強などに利用できます）、マジック



## 避難時はこんなスタイル



ペットは、キャリーバッグ（ケージ）に入れて連れていきます。その重さは？さらに自分たち（人間！）の持ち出し品も必須です。

## 一緒に考えてください！

狛江市の避難所には、市民の方が構成する避難所運営協議会があり、普段から避難所の運営方法等を話し合っています。話し合いや訓練に積極的に参加して、ペット同行避難のルール作りにご協力ください。



## 日頃からの心がけが、いざという時に役立ちます

住まいの安全対策	家具転倒防止グッズ、ガラス飛散防止フィルムなどを利用して、人もペットもケガを防ぎましょう。
避難場所・避難経路等の確認	ペットを連れての避難方法・経路を考え、実際に歩いておくことより安心です。
身元表示	万が一はぐれてしまった時、迷子札・マイクロチップが役立ちます。
健康管理	狂犬病予防注射（犬）は必須です。ノミなどの駆除もしっかり行い、清潔を保っておきましょう。
しつけ	基本的なしつけができていれば、避難所の受け入れもスムーズです。



## 避難場所の候補を増やしましょう

避難所は必ずしも快適な環境ではありません。また、ペットも慣れない環境となり、体調を崩すことがあるかもしれません。人もペットも避難所以外の避難先を考えてみてください。

自宅で	自宅の安全が確認できれば、在宅で😊
宿泊施設などへの避難	台風や豪雨予想のときの一時避難先として😊
親戚・知人・友人宅への避難	予め相談して、長期避難時にペットを預かってもらうことも😊

